属工業会(日長金) は社団法人日本長尺金 交換会を行った会議に 2名をお招きして意見 所々長、森山広之氏の 長塚安秀氏と浜松営業 ら名古屋支店支店長、 旦ビューティ工業㈱か 少し時間をずらして元

> つの事業を行っている。 策事業、広報事業の七

ある。管理 れるだけで

保険事業は労災保険

事

業は「金

属屋根工

事

技士」の資

氏と加藤友三氏と県板

る「特別障害保険」を に加えて任意加入によ

行っている昨年度は二

格

取得や資

海地区委員の沼澤啓二

びに石原英司経営対策

件の死亡事故と六件の

入院事故が発生より安

8

の義務講

格更新のた

高柳一男技術

全には力を入れたい。

査研究事業は金属屋

度は全国十 習会を七年

カ

所 で から平野理

事長なら

(1)

会八名の委員が出 研究委員長の他両委員

H

長 金の

根

生

知

県 金 I 業 組

合

名古屋市昭和区 北山町 3 8 6 電話 732 -1226

屋根業界と

板金業界の意見交換会

技 術研究委員会 営対策委員 会 合

告する。 ついて詳しく報告が 金の行っている事業に あったがその概略を報 日長金は昭和三十八

合同委員会を開催した。

研究会では九月十一 経営対策委員会と技

この会議には徴日本

品質管理事業、 安全対策事業、調査研 事業は組織・財務運 年に通商産業省の認可 究事業、 を目指して設立された 及ならびに技術の向上 を得て長尺金属板の普 施工管理事業 経営対 営 が少し見ら などの屋根 め縦ハゼ式 施工するた 根は厚板で どで金属屋 水がほとん はシート防

本部事務局長を、また

浪義夫氏と中川嘉郎

長尺金属工業界副会長

どなく屋根

中川事務局長より日長 金 一を行う一方海外へ視 属事項業者を訪問し 団を派遣して現地の

たアメリカには折板葺 きはほとん

同 と管 ためには国の助成を受 なければならないその 年層に限らず広く一般 層の人口減少に伴い 若年労働者は今後 の会合は二ヶ月に1 なっている。東海地 技能者を育成していか に人材確保をして基幹 開催している。 数え東海地区は十社と は全国で六百六十社を ている。 建設関係に従事する

若年

若

網としてこれからの けることが出来る。 また国の建設産業大 建

紙「金属屋根・施工 理」を毎月発行し 現在会員会社 広報 事業 んは機 を上げられた。

区 2

づくり。

3

れた人材が生涯 せる産業作り 技術と技能に優 以上 を

に対する目標 建設産業で働く人 経営体に対する目 のびられる競争環 れた企業が自由に で良いものを安く にトータルコスト 技術と経 エンドユーザー 営に優

九九八 提供するシステムを一 、年までに開発す

として次の三つの目標 設業に求められる条件 国民に対する目

情報の交換などをイン 商品情報の検索・見積 データ交換システム・ 業 (略称KISS) 産業情報化研究開発事 業」の一つとして建 高度電子商取引推進 オープンネットワーク 通 産省では「企業間 で

いる。 申し込みを受け付けて 望者は受講できるので 高いが会員以外でも希 費が一万六千円と少し 名古屋で開催する参加 講習を十月二十五日

報を入手し、

欲しいも

工務店が簡便に建材情

報は消費者、

建築主、

KISSによる情

から容易に選択できる

のを広範な選択肢の中

が手に入り、豊かな生 システム高品質の建材

ターネットを利用して 般ユーザーに情報を と中川氏から説明 推進し、コストダウン 生 あった。 な事業を展開している 日 を図るシステムである。 活を提供するシステム。 長金では以上のよう 産・流通の合理化を また情報交換により

が

いる。 開している。CM料は ようにCMなどでも ンレス商品を販売する りカラーアルミやステ するので高い製品であ で一貫した製品を販売 任施工で工事を行って 旦会があり元旦会が 旦について説明があっ た。施工には各県に元 業からは森山氏から 一億円を超すので製品 元旦ビューティー フッ素塗装製品よ 成型から施工ま 賁 I

質問、日長金東海地区 の間で談合が行われ 会があるが日長金と には十一日会と言う

次頁五段へ続く





ある職場環境作りを促

日

の両日、

奈良 月8日

年 9

第

17

全日本板 金工 一業組 合連合会 (全板

年部研究会

が安心して働ける魅力 板金業界の在るべき姿 研 『あすなろ研究会』が 究会の目的は、建築 催されました。この ル』において第17 (理市『奈良プラザホ 板 連青年部研究会 新規入職者

営改善の方策を研究す るかという観点から経 うかりまっ をまかなう原資として グループ討論会を通じ てをメインテーマとし、 と雇用の改善」につい 進するために、 業」をサブテーマとし て研究する。また、「も 収益をいかに確保す 雇用改善のコスト か?板金 経 営

36 うものです。 からは、 愛板青年 する。とい いても検討 の活用につ 築板金用材 展示する建 メーカー る。さらに 工具等 近

藤泰則 君

と雇用の改善」につい 調講演に移り、「経営 続きました。次に、 良県板理事長の挨拶と 担当)・地元、吉川奈 部会担当理事(青年部 ロック会長・御須第 事長・大杉武 講式は、臼井全板連理 長の挨拶で始まった開 しました。 野溝全板 連青 夫西部ブ 部 基

プに分け、各グループ150名)を七つのグルーた。この後、参加者(約 を立てて見え同感する 点がたくさん在りまし 現状に危機感を持って すが、住宅建築業界の 問屋さんの社長さんで 塚の塚本 宏氏がお話 いて、いろいろな対策 されました。塚本氏は てをテーマとして㈱大

かれました。 場を移して懇親会が開 県板青年部としても見 いました。この後、 習う点が沢山あると思 驚かされました。愛知 の横の繋がりの深さに

まりませんでした。 後にまとめという事で ループ毎に別れ前日の したが、なかなかまと 続きの討論会を行い最 二日目は前日

が無かった為、 論会の後の全体討論会 今回はグループ別討 他のグ

のグ 슾

らではないか。日

今回の研究会を設営し がりました。 ま

質問、日本の住宅や工 回答、そのようなこと 的にして発足したも などの意見交換を目 三晃の橋口氏と単 はない。十一日会は ているのではないか。 (前頁より続く) 価

[答、円高になり外 の住宅が安く輸入さ いというのか。 いるが何を根拠に高 賃は高いと言われて 玉

分からないしそれら も原因の一部ではな の流通は複雑でよく れるようになったか 本 回答、10月の講習は「 いても社会では必ず るが資格を取得して 資格更新の講習であ 属屋根工事技士」の

> 合いが出来ないもの 事前に相談とか話し 横取りされているが われるように仕事を

されてい ない。 前向きに しも評価

質問、単価 が補足。 だめ。 野理事長 でないと ラス思考 考えてプ 平

答、従来 ついて。 が値下 とは難し は値段を 根だけで からの屋 る原因に りしてい

> 者や異業種との協 だけではだめ、 ルアップからで金

調

同業

属

質問、日長金の講 いか。 の受講料は少し 中 浪 高 習

け

[答、講師に大学教 のでこの講習料に や専門技術者を招く のではないか。

リットもないので何 持っていても何のメ えることだが資格 ならないか。 特典があるように 板金組合でも

ている。

との

一番安い単価になっ価を見ると名古屋が 一番安い単価にな

中工務店の全国の単 るのではないか、 イと言ってやって ている単価でハイ ゼネコンから言わ い。中浪氏。 いかなければ やれる屋根を考えて

竹

ハ

質問、鳶に油げをさら 対立について。 元旦ビューティー

回答、今後

は相談

す

回答、 質問、公共工事の分離 発注について。 るようにしたい。

付けることが大事で 平常から組織で力を り一寸無理であろう。 どの問題が数多くあ 災保険とか書類とか 現場の安全や足場 理想であるが

あり自身たちのレベ

発な意見交換がさ ると回答された。 することが必要で をすすめタイアッ 議を終了し 活 プ

鷲見

第 3 1 0 号

松井祐治君

うテーマで各グルー まっか?板金業」とい た。今回は「もうかり 毎に討論会を行いまし

名が出

たグループでは各自の

年収の発表とか材料単

の比較とかで大変

(東三)・

藤井秀幸君

(東三)・

問屋さんが何社かある。

第三回

愛知県亜鉛鉄板問屋会には「ブリキ屋」から「トタン屋」に事業を拡大した

今回はそんな問屋さんを紹介する。

る。この店はおそらく古ーくからある老舗の板金屋さんだと思う。

組合員の中に「○○錻力店」や「○○ブリキ店」と言う屋号の店はかなりあ からか○○板金とか○○工作所と言う屋号が多くなった。しかし、現在でも 自分の職業を手っ取り早く説明するのにぴったしの言葉であったがいつの頃

ブリキ屋』『トタン屋』

繁栄の役割を担うの 板金業界・二十一世紀の

は

次説明して行きたい。

販売していたと聞 トタンを東三河地方で 氏が県内の三割ほどの

業員の幸福を第一に お得意さまの発展と

お得意さまに

共に、

制度の仕組みを順

責任施工保証制度」

将来を見据えて何事も人

工保証制度』

〈保証事業委員会〉 取 より先に一歩前進

証事業」は愛知県板の重 足早く「保証制度」に か究明しながら、組合 々として実績が上がら 事業とされながら、 繁栄の差をつけよう。 り組もう、そして他社 い。原因はどこに有る 毎年度「責任施工保

や講習などで保証事業の な取組みが出来る配慮と 本来の目的の理解と早急 に向けた継続的なPR そのための組合による支 任施工制度」である。 援制度が「ビジョン型責 員の利益が最優先であり、 発行する。あくまで組合

証を前提に 金銭保証は二次的損害保 り責任施工を中心にし、 度から「全板型責任施工」 銭保証) る板金業界の未来像を描 に基本的に変わる。 て来た「施工保証」(金 0 いた提言がなされた。 ビジョンの提言、いわゆ ☆ 平成2年3月第一次 提言とはそれまで続け が中心の保証制 「保証書」を つま

を歩んできた。また、 入れて、共存共栄の道 等による諸制度を取 け公正な価格と共栄金 ような販売を常に心が は仕事の手助けをする 仕する。 微力ながらも社会に 従

きる体制を整えてきた。 意さまの要望に協力で を設立して地域のお得 9 の施工技術を指導した 晃㈱を設立、長尺製品 昭和四十二年に豊橋三 新製品の技術開発には 会社は発展を続け内 橋板金加工センター 昭和四十六年には㈱

 \hat{S}

チダグループの新組 目愛造氏が受け継ぎウ と成長してきて昭和五 の改革がなされた。 十六年には社長を二代 には株式会社ウチダに に有限会社に四十八年 その後社長は三代目 商店を昭和二十七年 織

> ありそれぞれ親睦会を開 チェーン会、ウチダ建 して組織の簡素化を実縮小を計画各社を合併 催して親睦を深めている 材会、豊三会の三会が にはナショナル雨 施中である。 チダグループも規模の 需要が低迷していてウ 設備投資の減少となり ル崩壊後の経済状況で 尚、得意先との交流 配達で対応している。 回その他の地区は一日 宝飯部は午前午後の二 配達は豊橋市、豊川 営業地域 取引先 回遠隔地は週二回の 松、袋井以西。 カー等約四百五十社 工務店、ハウスメー ならびに販売。 建築板金店 東三河、

浜

以下に会社の概要を紹

設立 創業 加工センター 年一月 橋市問屋 昭和二十 昭 町

く事業を展開している。 代表取締役となり幅広 業員には会社の成 わせて持ち株 を発 行 制 利 従業員 六十名 可

p

許可 S 可 I 番号 場 4 9 3 0

配分の方法を進

8

在

業内容 建築資材 壁材、折曲材の 販売長尺屋根材、 平成五年四 年月 月 四 加 日 側 0 T 取引先 従業員 資本金 本社所 建設業許可 代表取締役 事許可 豊橋市小畷町一七六 0784号)

八名 約五十社

一千万円

河合慶一

(般-6

第2

愛知県

知

場作りに努めてきた。 持って楽しく働ける職 制度により、 企業の特長を生かした

しかし、現在はバブ

廃業されているので今 と三番目に㈱イトーさ 簿平成五年名簿による お が掲載されているが 93版巻末の問屋会名断り・県板組合員名 鷲見、 吉 以田 上

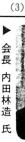
市

上げた。 回㈱ウチダさんを取り

橋三晃株式会社

介する。

資本金 株式会社 代表取締役 本社所在地 ウチダグループ 鈴木恒 本工業規格表示 五、九五七万円 豊橋市問屋 工場 雄 和二十七 ウチダ Ĵ 町 四 七豊



林 造

ブリキ屋をやるなら 次男林造氏(現在七十 のブリキ屋内田板金の て売ることも始めよう 株 (才) が材料を買って っそトタン屋になっ 渥美半島の赤羽根町 式会社 念発起して豊橋に

な頃 月であった。 り大変であった。そん 入れるのも切符制であ 足の時代でトタンを仕 のは昭和二十四 出て内田商店を始め この頃は戦後の物 からやり手 の林 1年の正 四代目で創業者林造氏 内田哲史氏から現在は 度 の義弟の鈴木恒雄氏が

社 屋 ません。このままでは 許されるわけではあり せまっているのです個

話ではない、

人だから零細だからで

方は入ってきません若 い人のいない業界に将

3

休憩時間は

実質時

人は定着しません若い

板

会が行われました。 9月15日恒例の研 の業務・技能目標の 程との連携プレー 作業者(従業員)

橋真一氏ら3氏による 株式会社タニタハウジ ングウェア名古屋営業 技術サービス課本 所長の大野実雄氏 所長代理稲船順一 12 11) 10 明確化 労働密度の向上 無価値の仕事の

排

後のあり方」は、聞き 界の労働環境改善と今 講演がありました。 大野先生の「板金業 13 利 アップ戦略 社外制度・ 賃金制度の見 売上増、

施設

0

直

17) 15 営者と技能者) 後継者の育成 板金業者の今後の 業界合同企画 (経

ました。週

40時間は先 目前に

しにまさるものがあり

2 1 ◎時間短縮改善案 形労働 棲み分け 1年以内単位の 計画的段取り 変

4 間とする 月給制への 切り

板金業界今後の

課題

親方から経営者へ

◎現 と26日になります、 ります。 いうが若い人は給料 短改善案を考えなけれ になります。だから の分残業代で支払う事 ります。 8 時間で割る時間の差は20時間もあ◎現状44時間から週40 そ 時 津

ま 業界と同じ労働環境 我々の業界も ほ

木々、魚の住めない湖 される。白骨化した の説明にはいつも驚か りました。特に酸性雨 度数、新製品説明があ 根や壁の種類別、使用 よる酸性雨、 ◎㈱タニタの本橋氏に 物の屋 した。

らのものといわれるが コンクリート。中国か 錆による鉄筋で割れる

利益率

壊しなければ未来はな 先生の言葉「現状を破 て下さい。最後に大野

吉田

来年はもう少し出席し 皆様ご苦労様でした。 の稲船様、本橋様本当 本でだしてた事、 にありがとうございま 大野先生、㈱タニタ 組合員、役員の

支 部 き

中村支部

瑞 **福支部** 24 日 2日 県板共済 申込み受付 定例会 加入 12 名

緑 中川港支部 19日 支担 支部 名加入 支部 例会6名

中 25 日 支部定例会32

昭 名古屋板金連合会 和支部 9 日 9 日 賛職人展10月4 ・5・6日につ 名古屋祭り共 支部例会15 年 部定 例会 名

7 名

片島支部 5 日 슾 ボーリング練習 五16名 定例会及び

第 3 1 0 号

案型体質への転

同じくらいの会社なら

事前行程と後行

みの多

受注型体質から提

作業方法の改 行程 (工事)管 技術力の向上 経営基盤の強化

善 及 理

> 尾張板金連合会 春日井支部 8日 8 \Box 日 定例会 支部役員会 13 名

21 日 支部 役員 ボーリング大 会 13 名

6

西三板金連合 豊田支部 20 14 日 日 親会担当打合せ 13 名 9年度新年懇 第6 一役員会

東三支部 2 15 日 \exists 報告・労働時間ジビリティ調査 定例会 講習会 フィ 13

いて会議

25 日 短縮につ 一役会 11 6 7 名

> W 編 集 後

> > 記

万博が決まれば各業界 発に関わる事だったが

んの数十年

前まで日

忘 れ 本の経済発展は出来な ではない」…… い、自然破壊など問 ばかりしていたら、 反対して保証金のつり にロクな者はおらん、 自然破壊反対と反 反対々々と言うヤ

B

を見直したものだ。 私は啞然として改めて いてしまったのだが、 のない人達の話しを聞 待合室で、私とは面識 を聞いた。電車の中と 記のような内容の話し 話しを続ける人間の顔 最近、偶然二回も

が、物事を表面的にし 性格の人が居るものだ か理解出来ない人間が かに多い事か。 世の中にはいろんな が有るだろうか。 けている事実を、本土 に住む我々は考えた など沖縄県民が受け続

撤去、賛成、反対」を 先日行われた「基 問う住民投票で も賛成票が圧倒 的で有ったよう

だまだ苦労は まり、政府も 改善策を打ち 上げお座なりの やっと重い腰を に住民運動は高

る話しは、どう やら「なごや万 壊反対を批判す の候補地 自然

この連中が補償金稼ぎ あって、沖縄県民は基 の反対をして居るので くが一坪地主であり、 話しの内 容から最

の轟音や射撃訓練の爆 の不安を思う人もある だろう。無くなった後 潤っている部分も有る 地を無くする事を望ん て、今なをジェット機 かに米軍基地の存在で で居ない…とか。たし かし戦後五十年を経 ある。 ら元には戻らない の域を出ない言い分で それは短絡的で浅知恵 息巻いていたが……… 破壊など小さな事だと、 きな物になるから自然 に及ぼす経済効果は大 かって日本は経済発 自然は一度破壊し

牲にした大義名分の経いいけれど、何かを犠 然と共生」の方策が むなら識者の言う「 の「あいち万博」を望 済発展は理解しがたい。 のがある。経済発展も 形こそ違え相通じるも い。今回の森林開発は 経緯を忘れてはならな 多数の被害者を出した 気汚染の自然破壊で大 く」など海域汚染や大 イ病や四日市ぜんそ 展途上に「イタイイタ どうしても候補地で 自

用、米軍最優先の政策 発音、私有地の強制使

ヤツでは 真意が理解できない の痛みが分からず事 的な人間こそロクな いずれにしても、 無いのである。 短 0

良と思われる。

三一〇号編集会議九月二十七日俭晴 出

後五時終了 (S) 席